

実施による工夫と得られる効果の検証

【実施による工夫】

- ①創立 60 周年記念式典の引継ぎ事項より、来訪青年会議所、雨港青年会議所、四日市 JC シニアクラブ会員の皆様とともに「明日のために」を斉唱します。
- ②創立 60 周年記念式典の引継ぎ事項より、各テーブルのアテンド担当を 1～2 名配置（時間配分によってアテンド卓交代制）することにより、来訪いただいた皆様に感謝の気持ちを込めて、同一人物がおもてなしできるようにします。
- ③記念品として、萬古焼の湯呑、すいざわ茶、お菓子（クッキー）をお渡しします。また、記念品には四日市青年会議所創立 70 周年記念であることを印字します。
- ④歓談中のアテンドは礼儀正しく丁寧な対応をしていただきます。また、各テーブルの状況を鑑み、全メンバーが適宜対応をしていただきます。
- ⑤公務のため市長の式典への参加が難しい場合は、祝賀会で理事長挨拶の後に祝辞をいただきます。また、祝賀会途中参加となる場合は、次第の切り替わるタイミングもしくは歓談中にアナウンスを行い、祝辞をいただきます。

【得られる効果の検証】

- ①皆が一体となり「明日のために」を斉唱することで強いつながりをつくることができたと考えられる。
- ②担当部分を決めることにより、事前情報を調べることができて、面識のない方でもお話しやすくなり、より感謝の気持ちを伝えることができたと考えられる。また、来訪いただいた方が最後まで気持ちよく参加していただくことができたことで、より良い関係性をつくるきっかけとなったと考えられる。
- ③湯呑、お茶、お菓子と関連性のある品にしたことで使用していただくことができて、四日市青年会議所 70 周年記念を思い出していただくきっかけとすることができたと考えられる。
- ④対外参加者を丁重におもてなしすることで、交流をするきっかけづくりをすることができて、全メンバーが各テーブルの方々と交流をすることができたと考えられる。しかし、交代制とすることができておらず、参加者全員と現役会員が交流をすることまではできていなかった。
- ⑤公務のため式典には参加していただくことができていたが、祝賀会は欠席となってしまう、祝賀会の中では祝辞をいただくことはなかった。しかし、式典に参加されていたので、式典の中で祝辞をいただくことはできた。